



経済日誌

2025年1月15日～2025年2月14日の主な出来事



- | | |
|---|--|
| <p>1.15 熊本空港から青果初輸出
JA熊本経済連は14日、熊本空港から香港へ県独自品種のイチゴ「ゆうべに」を空輸した。熊本空港発の便で青果物を輸出するのは初めて。経済連は農産物の空輸に、これまで福岡や東京といった県外の空港を活用していた。熊本空港の国際定期路線が増えたことから試験的に取り組み、本格導入を目指す。</p> | <p>1.25 熊本市物価 3年連続上げ幅2%超
総務省が24日発表した生鮮食品を除く熊本市の消費者物価指数の2024年平均（20年=100）は、前年比2.6%上昇の107.5となった。食料品などの値上げにより、3年連続で上げ幅は2%を超えた。食料では、穀類が11.7%、菓子類が6.5%、油脂・調味料が4.5%の上昇。照明器具やカーテンといった室内装備品は12.0%、電気代は11.4%上がった。</p> |
| <p>1.18 熊本地震のデータ活用 県とJAXA協定
熊本県と宇宙航空研究開発機構（JAXA）は17日、地震などの災害時に人工衛星画像から建物被害の状況を推定するプログラムの開発で協定を結んだ。JAXAは数年後の実用化を目指して開発に取り組んでおり、精度向上に向けて県は熊本地震で生じた住家被害のデータを提供する。プログラム開発でJAXAと自治体が連携するのは初めて。</p> | <p>1.31 県内景気 前回判断維持
九州財務局長は30日の全国財務局長会議で、1月の熊本県内の経済情勢を「物価上昇の影響がみられるものの、緩やかに回復している」と報告した。10月の前回判断から据え置いた。経済情勢の主要3項目についても判断を維持。南九州4県（熊本、大分、宮崎、鹿児島）の総括判断と主要3項目の判断についても据え置いた。</p> |
| <p>1.23 旧市民病院跡地 商業施設誘致
熊本市東区の旧市民病院跡地について、市病院局は22日、ヘルスケア事業などを展開する同仁グループ（熊本市南区）が一般競争入札で落札したと発表した。落札額は32億7,000万円。同仁グループは生鮮食品を取り扱うスーパーマーケットを含む商業施設を誘致し、2026年12月の開業を予定している。</p> | <p>2.1 熊本の渋滞レベル 世界4位
オランダの地図サービス大手TomTomが公表した世界500都市の2024年渋滞レベルランキングによると、上位10都市にアジアの4都市が入った。渋滞レベルは交通の流れが順調な時に比べて移動時間がどれだけ長くなるかを測る。熊本は4位で、日本の都市で唯一10位以内に入った。</p> |
| <p>1.23 県が来夏に大型観光企画
熊本県とJTBグループ6社、県内の観光団体など。2026年7～9月に大型観光企画「熊本デザイン」を展開する。観光客の誘致や観光情報発信に連携して取り組む。2024年に福岡・大分や北陸3県などで開催されており、熊本開催は2019年以来、7年ぶり。</p> | |
| <p>1.26 空港東側に道路整備を 県に要望
国原村や益城町と熊本空港周辺の6町村が5日、滑走路の東側に新たなアクセス道路整備を求める要望書を熊本県に提出した。TSMC進出に伴う交通量の増加で、空港の地下を通る県道が渋滞している現状を指摘。空港東側に立地する東海大阿蘇くまもと臨空キャンパスや大津南部工業団地などの交通量増加にも対応するため、アクセス道路の検討を求めた。</p> | |
| <p>1.23 県職員カスハラ被害944人
熊本県は、県職員944人が外務省から被害を受ける「カスハラ（カスハラ被害）」に巻き込まれるアワードを開催する。台湾金融グループと協定</p> | |

以降は会員専用ページにて公開しております。
ご覧頂くには、入会手続き後、会員専用ページより
アクセスをお願いします。

[ご入会はこちらから](#)

(入力は数分で終わります)

[会員の方ははこちらから](#)